

「指導と評価の一体化」に向けた

高等学校外国語科における パフォーマンステスト参考資料 (指導者用資料)



「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」は、学習指導要領における「指導と評価の一体化」の充実を図る際の参考となるように作成したものです。

英語教育実施状況調査で見られた、「話すこと」や「書くこと」の発信力を測るパフォーマンステストの実施状況についての課題は、学校において組織的・継続的な取組によって改善を図っていくことが大切です。

本資料が、日々の指導や研修会など様々な場面で活用され、教師の指導の改善や生徒の学習状況の改善につながることを期待しています。

目次

はじめに	資料のよりよい活用のために 事例の見方（各事例については1～8をクリック！） パフォーマンステスト実施のTIPS	
やり取り	1 ロールプレイ 2 質疑応答 3 ディスカッション	フェアトレードの啓発活動についてアイデアを伝え合おう 思い出を伝え合おう 参加するボランティア活動を決めるために話し合おう
発表	4 スピーチ 5 ポスターセッション 6 プレゼンテーション	尊敬する人について話して伝えよう 生物模倣学による商品開発について話して伝えよう 文化祭での出し物について話して伝えよう
書くこと	7 電子メール 8 論証文	外国の高校生からのメールに返信をしよう グローバル化の健康への影響について書こう

事例において、科目などを記載していません。学校の実態に応じて事例を汎用的に活用ください。（例）話す時間を短くする、長くする、採点基準の条件を変える、条件を追加する、採点基準の記述を変える、課題設定を変える（例：授業で行った活動の話題を変えた課題設定にするなど）

資料のよりよい活用のために



二つの資料を目的に応じて活用しよう！



本資料をよりよく活用するためには、学習評価の在り方や評価の総括などについて理解しておくことが大切です。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

(国立教育政策研究所教育課程研究センター)

- ✓ 学習評価の在り方
- ✓ 観点別学習状況の評価の進め方・評価の総括
- ✓ 単元ごとの指導と学習評価 など

高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料(本資料)

- ✓ 指導とパフォーマンス評価
- ✓ 話すこと・書くことにおけるパフォーマンス評価の実施方法 など

資料のよりよい活用のために



外国語科・各科目の目標を理解しよう！

育成したい資質・能力が三つの柱で整理され、小中高等学校を通して一貫した目標が設定されています。

高等学校学習指導要領(平成30年3月30日告示)第2章第8節 外国語 第1 目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

生きて働く **知識及び技能** の習得

(1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

未知の状況にも対応できる **思考力、判断力、表現力** 等の育成

(2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

学びを人生や社会に生かそうとする **学びに向かう力、人間性** の涵養

(3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

資料のよりよい活用のために



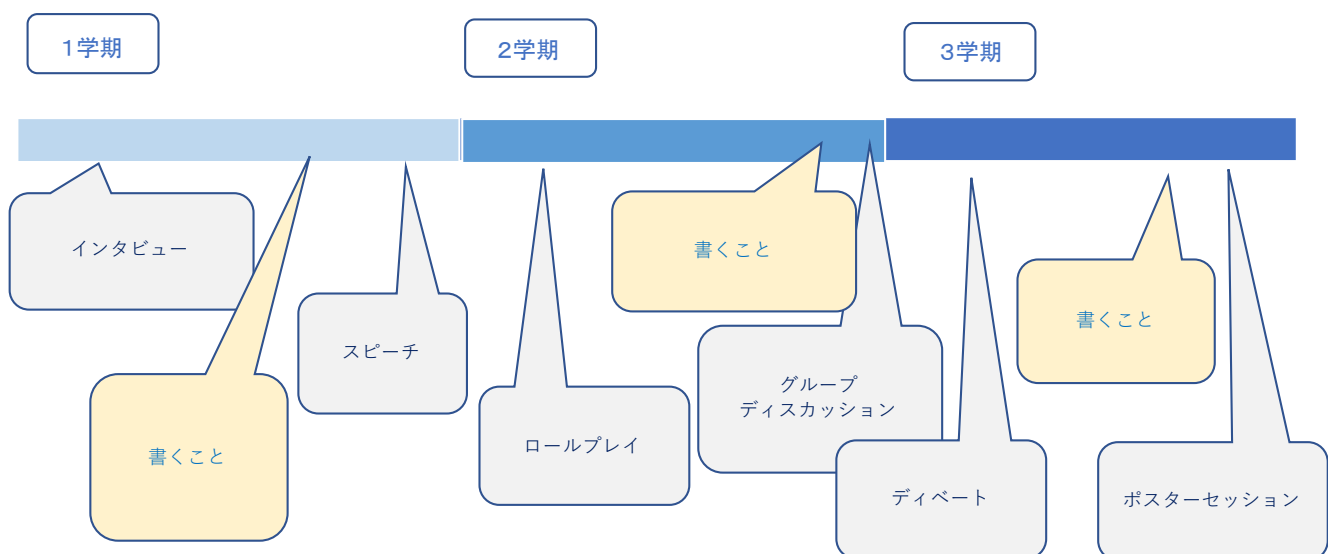
年間指導計画や評価計画を立てよう！

各学校・各学年（科目）でどのように指導や評価を行うかを考え、計画を作成することは重要です。

高等学校の外国語科の目標を理解し、各科目の目標と関連付けて各学校で作成された学習到達目標を活用し、五つ（三つ）の領域別目標を達成できるよう、指導計画及び評価計画を作成することが大切です。

指導・評価計画を作成するに当たり、パフォーマンステストをどのように実施するかを検討するための参考として、本資料を活用ください。

年間を通したパフォーマンステストの実施イメージ（例）



事例の見方

事例1：話すこと【やり取り】・ロールプレイ

1 単元の目標

社会的な話題（フェアトレード）について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・情報や考え、気持ちなどを伝えるために必要となる新彙や表現、音声等を理解している。 ・社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、理由	他の高校生に、フェアトレードについて理解してもらえるように、フェアトレードの啓発活動の企画について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合っている。	他の高校生に、フェアトレードについて理解してもらえるように、フェアトレードの啓発活動の企画について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合おうとしている。

領域でのパフォーマンス評価の種類を示しています。

単元での目標を示しています。

該当単元で育成したい資質・能力を三つの柱に沿って示しています。

3 テストについて

- (1) 場所
別室
- (2) 内容
フェアトレードの啓発活動についてアイデアを伝え合おう
- (3) 準備物
役割等が書かれたカード、タブレット端末等の録画機器（録画用1台）、タイマー、準備時間等

実際のテストの実施について、場所・内容・準備物・方法を示しています。

テストの実施については、事例を参考に、各学校の実態に応じて様々な工夫を行い実施しましょう。

テストは、目標で設定した身に付けさせたい力が達成できているかを測るものです。そのために、設定した目標に生徒が到達したかどうかを測ることができるテストを行いましょう。指導に関しては、生徒と目標を共有し、学びの見通しをもたせた上で、目標の達成に向けた指導を日頃から行いましょう。

事例の見方

(5) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、次の二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての二つの条件

- 条件1：話題に関連した自分の考え、意見などを明確に書いている。
- 条件2：理由や具体例を書き、書いた考えや意見などを支えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

評価規準に基づいて作成した三つの観点別の採点の基準を示しています。

採点の基準は評価規準に基づき、矛盾がないように作成します。採点の基準や方法について、担当する教師間での共通理解が大切です。

指導について示しています。

聞いたことを基に話すなど、複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通じた指導を行いましょう。その際、表現内容の適切さという内容面と、英語使用の適切さという言語面からの指導を行いましょう。生徒が伝えたいことを大事にしなが、伝えたいことが適切に伝わるよう使用する語彙や表現、文を多様にしていくような継続的な指導が大切です。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンスアセスメントの内容と採点の基準について事前に生徒と共有する。

授業での活動（5時間程度の授業を想定）

- ・教科書の英文（フェアトレード等の題材について書かれた英文を想定）を隣りたり読んで読みながら、概要や要点を把握するとともに、本文内容について情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。
- ・単元の学習終了後に、フェアトレードに関する表やグラフが記載されたワークシートを配付し、表やグラフからわかることや生徒自身の考え等について話し合う。【資料3】参照

指導する表現例

- 自分の意見を表明する表現
How about ...? I think we can ... I think ... is good.
Why don't we ...?
- 相手の意見に反論する表現
I see your point, but ... That's a good idea, but ... You said ..., but ...
- 相手の行動を促すために質問する表現
Do you have any ideas? What do you think?

指導上の留意点

- ・教科書本文を扱う際、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うための表現や、相手の考えを求めたり、質問をして話題を広げたりするための表現を示しておく。
- ・授業で話して伝え合う活動を行う際には、うまくやり取りを行っているペアに全体で共有してもらうなどする。

事例の見方

5 フィードバック

- 生徒の作品の表現内容の適切さという内容面や英語使用の適切さという言語面の優れている点についてフィードバックを行う。
- 自分の文章と、教師が示した文章やオンライン上で得られた文章を比較するなど、自分自身で表現力の豊かな文章にするような機会を与えることも考えられる。
- 言語面について、全ての間違いを訂正するようなフィードバックではなく、本課題で使用された理由や具体例を書くための表現などに重点を絞ったフィードバックをするなど、指導者の負担にも配慮しながら効果的なフィードバックを行いたい。

パフォーマンステスト実施後のフィードバックについて示しています。

教師が評価結果を生徒一人一人に示し、できるようになったことを確認させましょう。生徒の主体的で自律的な学びにつなげるために、生徒自身に成果や課題を明らかにさせ、次に向けた目標を持たせましょう。国立教育政策研究所の評価の参考資料の事例5での振り返りシートの活用や、本資料の事例に示したように、評価を示す記録用紙に振り返りや次の学びの目標を書かせたりすることも有用でしょう。

事例には、教師が事前に示すモデルの英文例や生徒の発話例、生徒が書いた英文例などが記載されています。

テストは、授業での活動の再現を自分で行うことです。生徒自らが授業での活動などを振り返り、内容面や言語面について学んだことを生かしながら自分の力で課題が達成できるよう、生徒の状況に応じた段階的な指導の配慮を日常から行いましょう。

○ 解答例 2

Hello David! How are you? I think we don't need a uniform. That is because students should decide our cloths, not teachers. For example, I like zubon, but I must wear skirt. It's not good. We need free. School is place to learn teacher say. And we can learn if we don't wear it. When I was a elementary school student, I didn't wear it. But I studied. I think American school is good. So, I think it is not better for high school students to wear uniform. Good-bye!

Your friend, Misaki

「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「b」と評価した。

事例の見方

【資料1】パフォーマンステスト実施時のコメントシートの例

Your Name () Speaker's Name ()
 Speaker's strong points
 Your advice to make the speech better

【資料1】（パフォーマンステストで使用するボランティア募集のチラシ（前））

Looking for Volunteers!
 Work for our community and gain valuable experience

Reading to Children

Date: August 6 (Thu)
16:00-17:00

Work: Read books aloud to elementary school students.

Requirements: Be willing to work with children.

Workshop Assistants

Date: August 13 (Fri)

Work: Work as an assistant at a Japanese culture workshop for Canadian high school students visiting our city.

Requirements: Be interested in inter-national exchange.

Animal Shelter Staff

Date: September 11 (Sun)

Work: Take care of cats and dogs that have been abandoned and are looking for a new home.

Requirements: Be willing to work with animals.

【資料2】モデル英文の例

Walt Disney is one of the people I admire. He was a cartoonist who created the famous character, Mickey Mouse.
 When he was a boy, he loved drawing. He drew funny cartoons for his friends. Even in difficult times, such as during the war, he didn't give up drawing.
 He made the first cartoon film with sounds. After that, he created many popular animation movies. He also wanted to make a place where families could have fun together. The idea was realized when the theme park Disneyland opened.
 I admire him especially because he kept his dream and didn't give up trying. He said, "If you can dream it, you can do it." His words remind me of the importance of following my dream.

【資料3】スピーチのアウトラインをキーワードで示すためのワークシートの例

Class () No. () Name ()
 A Person of Great Achievement

Make notes for your speech by answering the questions in the left column.

Necessary Information	Your Speech Notes
Who?	1 Malala Yousafzai
What did the person do? / What does the person do?	2 UN / education / Malala Day

【資料4】授業で生徒に配布する資料2

○ 原稿を書いた後、他の人の意見を読んでみよう！

[Other Students' Opinions]
 他の人の①考えや意見など、②理由、③具体例にそれぞれ下線を引き、どのように書いているか確認しよう。

○ High school students should get a part-time job. ○ They can gain not only money but also experience that will be useful in the future. ○ Having a part-time job, for example, can improve your communication skills and teach you the importance of responsibility. I think all these skills will be useful for your future. (K)

各事例の指導とテストに関する参考資料が豊富に掲載されています！授業や学校の実態に応じてテストをカスタマイズする際に活用ください！

【資料5】スコアレポートの例

書くことのペーパーテストを振り返ろう
 ○ 年 番号 022 英学 門学 英学

● 2023年11月22日に、製図について自分の考えをまくテストがありました。
 ● 「結果」を見て、下の()を埋めてください。これからの英語の勉強に活かしてください。

自己評価	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度
結果	a	b	c
1	授業や表現の理解に慣れ、簡単な英文を書き、読解する情報や自分の考えを詳しく書いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく書いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく書いて書いている。
2	読み取りがスムーズで、理解している。	二つの条件を満たして書いて書いている。	二つの条件を満たして書いて書いている。
3	「a」を満点していない、「b」を満点していない、「c」を満点していない。		

※資料1：自分の考えや意見を明確にしている。
 ※資料2：理由や具体例などを挙げて、自分の考えや意見を述べている。

英学の学習を通してうまくできるようになったこと ()
 うまくできなかったこと ()
 うまくできるようになるために今後取り組みたいこと ()
 その他のお話 ()

パフォーマンステスト実施のTIPS

目標に準拠した指導とパフォーマンステストを実施しましょう。

授業で扱った話題に関連した課題にするなどして、語彙や表現、文法事項などの言語材料が活用できるようなテストを行いましょう。

生徒のコミュニケーションを図る力の育成につながるようなパフォーマンステストを行いましょう。

学校の外国語（英語）の同じ科目を担当する教師で、テストの内容や評価時期などを考え計画しましょう。

テストを受けるまで待つ生徒の扱い、テストでの生徒のICTの活用、テストの記録方法や採点方法など、学校の実態に応じて工夫しましょう。

テストを実施したら、課題を次のテストに生かし、テストの改善を図りましょう。

「高等学校外国語科におけるパフォーマンステスト参考資料」に関する協力者（五十音順）
（職名は令和4年6月現在）

有嶋 宏一	鹿児島県総合教育センター教科教育研修課研究主事
江原 美明	武蔵野大学教育学部教育学科特任教授
小泉 利恵	清泉女子大学言語教育研究所教授
投野由紀夫	東京外国語大学大学院教授・ワールド・ランゲージ・センター長
富永 幸	滋賀県教育委員会教職員課主幹
松下 信之	大阪府教育庁教育振興室高等学校課首席指導主事

文部科学省においては、次の者が担当した。

常盤木祐一	初等中等教育局教育課程課長
真保 洋	文化庁付（命）文化戦略官
富高 雅代	初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室教科調査官
岡田 健裕	初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室室長補佐
西澤 崇	初等中等教育局教育課程課外国語教育推進室専門職

事例1：話すこと [やり取り]・ロールプレイ

1 単元の目標

社会的な話題（フェアトレード）について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うやり取りを続けることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちなどを伝え合うために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 社会的な話題（フェアトレード）について、情報や考え、気持ちなどを、理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 	<p>他の生徒に、フェアトレードについて理解してもらえるように、フェアトレードの啓発活動の企画について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合っている。</p>	<p>他の高校生に、フェアトレードについて理解してもらえるように、フェアトレードの啓発活動の企画について、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合おうとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

別室

(2) 内容

フェアトレードの啓発活動についてアイデアを伝え合おう

(3) 準備物

役割等が書かれたカード、タブレット端末等の録画機器（録画用1台）、タイマー、採点用紙

(4) 所要時間等

- ・一組（二人）あたり2分
- ・1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）程度での実施を想定

(5) 方法

<事前の準備>

- ・テストについて、生徒に以下の内容を伝えておく。
 - ※テストは二人一組で受けること。
 - ※テストの話題が「フェアトレードの啓発活動」であること。
 - ※啓発活動のアイデアはテストの前に与えられ、どちらのアイデアが良いか2分間話し合うこと。
 - ※2分間での話し合いで結論を出す必要はないこと。
 - ※テストは録画されること。

<テスト当日の流れ>

- ・テストを受ける手順について説明する。
- ・生徒は二人ずつ別室においてペアでテストを受ける。
- ※生徒はテストを受ける前に廊下で待機する。(生徒Aと生徒Bの待機場所は離しておき、事前に打ち合わせをしないよう指示しておく。)
- ※生徒はそれぞれ廊下での待機中に、役割等が書かれたカードを見て、話す内容を考え、必要に応じてメモを取る。【資料1】
- ※テストを受けている生徒以外の生徒は教室で自習(例:定期考査の振り返りやライティングの課題等)を行う。

<採点>

教師はその場で採点を行う。録画した動画を基に採点を行っても良い。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」(おおむね満足できる)としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1：自分のアイデアを理由とともに相手に提案している。

条件2：相手の意見を踏まえた上で、反対の意見を理由とともに伝えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢や文におけるイントネーションなど英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音している。 	二つの条件を満たした上で、相手の発話に応じてやり取りを継続するとともに、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝え合っている。	二つの条件を満たした上で、相手の発話に応じてやり取りを継続するとともに、具体的かつ詳細な理由や根拠を示しながら話して伝え合おうとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝え合っている。 ・理解に支障のない程度の発音で話して伝え合っている。 	二つの条件を満たして話して伝え合っている。	二つの条件を満たして話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（5時間程度の授業を想定）

- ・教科書の英文（フェアトレード等の題材について書かれた英文を想定）を聞いたり読んだりして概要や要点を把握するとともに、本文内容について情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合う。
- ・単元の学習終了後に、フェアトレードに関する表やグラフが記載されたワークシートを配付し、表やグラフから分かることや生徒自身の考え等について話し合う。【資料3】

[指導する表現例]

- 自分の意見を提案する表現
How about...? I think we can... I think... is good.
Why don't we...?
- 相手の意見に反論する表現
I see your point, but... That's a good idea, but... You said..., but...
- 相手の行動を促すために質問する表現
Do you have any ideas? What do you think?

指導上の留意点

- ・教科書本文を扱う際、情報や考え、気持ちなどを理由とともに話して伝え合うための表現や、相手の考えを求めたり、質問をして話題を広げたりするための表現を示しておく。
- ・授業で話して伝え合う活動を行う際には、うまくやり取りを行っているペアに全体で共有してもらおうなどする。

5 フィードバック

- ・生徒に、録画された自分のやり取りの発話の内容や使用した言語材料に関する振り返りや、次の学習の見通しをレポートとしてまとめさせる。教師はレポートに対してコメントを書く。

【資料1】テスト中の役割等が書かれたカード例

生徒Aに配付するカード

○ あなたの役割

ESS部に所属する高校生

○ 状況

ESS部がフェアトレードを他の生徒に知ってもらうために、学校内において啓発活動を行うことを決めました。あなたはもう一人のESS部の生徒と活動内容について話し合います。あなたのアイデアと理由は以下に示しており、もう一人の生徒は異なるアイデアを持っています。相手のアイデアを聞いた後、自分のアイデアを理由とともに伝えてください。その後、どちらのアイデアが良いか、話し合ってください。話し合いの時間は2分間です。2分間で結論を出す必要はありません。会話はあなたから次の英文で始めてください。

“Let’s talk about what we can do to raise awareness of Fairtrade.

Do you have any ideas?”

○ あなたのアイデア

フェアトレードに関する動画を作成し、放課後に上映する。

【アイデアの理由】

- ・動画は多くの情報を与えることができる。
- ・動画を見た生徒はフェアトレードに興味を持ってくれる。
- ・興味を持った生徒はフェアトレードの製品を買ってくれる。

※キーワード

動画:a movie 放課後:after school ~を上映する:show ~

情報:information 製品:product(s)

【メモ】

生徒Bに配付するカード

○ あなたの役割

ESS部に所属する高校生

○ 状況

ESS部がフェアトレードを他の生徒に知ってもらうために、学校内において啓発活動を行うことを決めました。あなたはもう一人のESS部の生徒と活動内容について話し合います。あなたのアイデアと理由は以下に示しており、もう一人の生徒は別のアイデアを持っています。相手のアイデアを聞いた後、自分のアイデアを理由とともに伝えてください。その後、どちらのアイデアが良いか、話し合ってください。話し合いの時間は2分間です。2分間で結論を出す必要はありません。会話は相手から始めます。

○ あなたのアイデア

フェアトレードを紹介するリーフレットを作成し、朝、校門で配付する。

【アイデアの理由】

- ・リーフレットの作成には時間がかからない。
- ・多くの生徒に配付することができる。
- ・リーフレットはいつでも読むことができる。

※キーワード

リーフレット:a leaflet 校門:the gate ~を配付する:give out ~ (give ~ out)

時間がかかる:take いつでも:whenever

【メモ】

【資料 2】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【例 1】

ア) 生徒のやり取り例

生徒 A : Let's talk about what we can do to raise awareness of Fairtrade. Do you have any ideas?

生徒 B : I think we can make a leaflet with information about Fairtrade and we can pass it out to students at the gate in the morning. What do you think?

生徒 A : I think making a short movie about Fairtrade and showing it to other students is good.

生徒 B : That's a good idea but making leaflets is easier and more students will be able to learn about Fairtrade.

生徒 A : You said making leaflets easy and that's true, but I don't think many students will read the leaflet. I think they will get more interested in Fairtrade if they see the video.

生徒 B : You are right. If they get interested in Fairtrade, there will be a better chance for them to buy Fairtrade products. Maybe making a video will be more effective.

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒 A、生徒 B とも全ての観点で「a」と評価した。

【例 2】

ア) 生徒のやり取り例

生徒 C : Let's talk about what we can do to raise awareness of Fairtrade. Do you have any ideas?

生徒 D : I want to make... leaflet and give students... at the gate in the morning because... ah... I like... draw pictures. I can draw good pictures for a leaflet.

生徒 C : I think... we make a video about Fairtrade. Watching movies is more... fun than reading... I think. I can understand it better. Why don't we make movie that... Fairtrade coffee... bean?

生徒 D : I see your point, but I think making a movie take a lot of time. I don't want to do it.

生徒 C : You are right. Let's make a leaflet.

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒 C、生徒 D とも全ての観点で「b」と評価した。

【例3】

ア) 生徒のやり取り例

生徒E : Let's talk about what we can do to raise awareness of Fairtrade. Do you have any ideas?

生徒F : I want to make... leaflet... We can give it... in the morning. What do you think?

生徒E : Why don't we make a video about Fairtrade and show it after school? We can give more information with the video and after they get more information, they will be motivated to know more about Fairtrade and look for more information by themselves.

生徒F : I see... That's good.

生徒E : Handing out leaflets is a good idea, but I don't think many students will read it. What do you think?

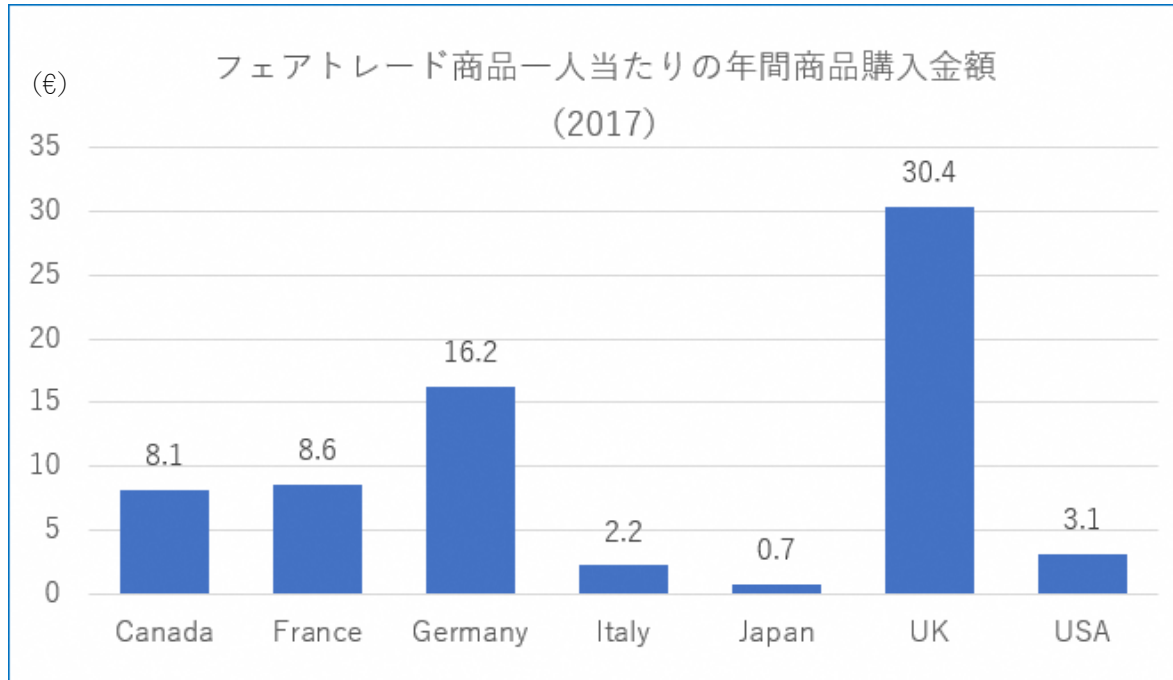
生徒F : I... will read it.

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒Eは全ての観点で「a」、生徒Fは全ての観点で「c」と評価した。

【資料3】単元の学習後の活動で生徒に配付するワークシート例

Look at the graph below.



「FAIRTRADE INTERNATIONAL, ANNUAL REPORT 2017-2018」, 「United Nations, World Population Prospects Key findings & advance tables 2017 REVISION」から作成

1. Talk with your partner about what you have noticed in the graph.

2. Do you often buy Fairtrade products such as chocolate or coffee beans?
Why or why not? Talk with your partner.

事例2：話すこと [やり取り]・質疑応答

1 単元の目標

日常的な話題（思い出）について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 日常的な話題（思い出）について、情報や考え、気持ちなどを、話して伝え合う技能を身に付けている。 	<p>自分のことを相手に知ってもらえるように、相手の質問に応じながら、日常的な話題（思い出）について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合っている。</p>	<p>自分のことを相手に知ってもらえるように、相手の質問に応じながら、日常的な話題（思い出）について、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合おうとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

廊下又は別室

(2) 内容

思い出を伝え合おう

(3) 準備物

タブレット端末等の録画機器（録画用1台）と固定器具、タイマー、話すことが書かれた五枚のカード、実施方法や採点の基準などの資料、採点用紙

(4) 実施時間等

- 一人当たり2分程度
- 1クラス（40人）当たり2単位時間（100分）程度での実施を想定

(5) 方法

<事前の準備>

- 同じ科目を担当する教師と採点方法を確認する。必要に応じて採点のシミュレーションを行う。
- 長い沈黙がある場合等の対処法を決めておく。

<テスト当日の流れ>

- テストを受ける順番はテストの当日に発表する。
- 生徒は一人ずつテストを受ける。それ以外の生徒は教室で待つ。
- 話すことが書かれた五枚のカードを裏返しにして、生徒に一枚選ばせる。
- テストの内容と採点の基準を確認し、生徒と共有する。

あなたは思い出深い出来事についてクラスメートと会話をします。先生がクラスメートの役をします。先生が示すカードから一枚選び、そのカードに書いてあることについて、あなたからクラスメートに質問をすることで会話を始めてください。また、クラスメートからの質問にも答えてください。考える時間は15秒、会話の時間は90秒です。

(カード)

中学生の頃の思い出

小学生の頃の思い出

夏休みの思い出

冬休みの思い出

春休みの思い出

・やり取りのテストになるように、生徒が1～2文話したところで内容についての質問をする。

<採点>

教師はその場で採点を行う。録画した動画を基に採点を行っても良い。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> 語彙や表現が適切に使用されている。 聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合おうとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> 多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 理解に支障のない程度の音声等で話している。 	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（1時間程度での指導を想定）

- ・教師とALTが互いの思い出を語る場面のモデル会話を聞いたり読んだりする。モデル会話を活用し、過去について話す際に有用な語彙や表現、質問の内容、話し方などを確認する。

[指導する表現例]

- 過去の出来事について質問する表現

What was the most memorable event when you were a junior high school student?

What did you do during the summer vacation?

Where did you go? Who did you go with?

- 過去の出来事を表す表現

When I traveled/went to ..., ... While I was playing soccer, ...

- 相手の質問や話が理解できないときに使う表現

Could you say that again? (I went to Hawaii last ... のように最後が聞こえないとき)

You went to Hawaii? When did you go there?

- 質問への答えに詰まったり、分からなくなったりしたときに対処したり協力したりするときに使う表現

(相手が言葉に詰まったときに) Do you mean tapioca? Is it a small, black ball?

Is it like a black bean?

- ・生徒は思い出について話す内容を考える。
- ・ペアで思い出についてお互いに質問し合いながら会話を行う。
- ・会話を録画し、自分の発話や話し方などを確認する。ペアを替えて会話を行う。

指導上の留意点

- ・ペアの両方がお互いに質問し合い、やり取りをするように促す。
- ・尋ねたいことを質問したり、会話の流れに応じて関連する質問をしたりできるように、教師が質問の例を示すとともに、生徒にも質問の例を考えさせる。
- ・会話例を全体で共有し、質問と答えに矛盾がないかどうか、使用された語句や表現が適切であったかなどを考えさせる。

5 フィードバック

- ・やり取りの中でどのような語句や表現を使えばより適切に伝えたいことが伝わったか、どのような質問をすれば会話をより継続できたかなどについて生徒に考えさせながら、生徒が使える表現を多様にするようなフィードバックを全体に対して行う。
- ・生徒は自己評価を行う。自己評価は、事前に単元の目標や評価規準、テストの内容、採点の基準を生徒と確認し、目標の達成に向けた指導を行った上で行う。
- ・生徒の学習改善につながるようスコアレポートを作成し、生徒に返却する。【資料2】

【資料 1】 テスト時の会話と採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【生徒 A】

生徒 A : What was the most memorable event during the summer vacation?

教 師 : Well, I bought a cute puppy last summer. I fell in love with her when I saw her. How about you?

生徒 A : My most memorable event was summer festival.

教 師 : Tell me more.

生徒 A : I went to my grandparents' house last summer. Then, I went to summer festival with my grandparents.

教 師 : What made the festival most memorable?

生徒 A : When I went to summer festival, I see... saw Japanese dance, *bonodori*. They were dancing happy. So, I joined *bonodori* dance. It was my first time.

教 師 : How was the dancing?

生徒 A : I really enjoyed dancing. First, it was difficult, but other people taught me how to dance. I felt very happy. That was my most memorable event during summer vacation.

教 師 : Would you like to dance again if you have a chance?

生徒 A : Yes.

教 師 : Why do you think so?

生徒 A : I really enjoyed dancing. I was happy because I danced with many people.

教 師 : I see. Thank you for sharing your memory with me.

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒 B】

生徒 B : What did you do during the winter vacation?

教 師 : I went to Hokkaido last winter. Then, I enjoyed delicious local food there.

生徒 B : Me, too! I went to Hokkaido.

教 師 : Really? Who did you go with? And what part of Hokkaido did you go to?

生徒 B : I went to Sapporo with my family.

教 師 : What made the festival most memorable?

生徒 A : I saw snow. It was very beautiful. I had never... see... seen snow. I made snowman with my sister.

教 師 : Would you like to go to Hokkaido again?

生徒 A : Yes.

教 師 : Why?

生徒 A : Next time, I would... would like... to go Hokkaido summer... in summer.

教 師 : I see. Thank you for sharing your memory with me.

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒C】

生徒C : What is your memorable event... when when junior you were... junior... high school?

教師 : Oh, I was in a brass band club. We won the gold medal at the music competition. How about your memory when you were in junior high school?

生徒C : I was... play... played volleyball.

教師 : Please tell me more.

生徒C : I was... I play... (沈黙が続く)

教師 : Did you enjoy playing volleyball?

生徒C : Yes.

教師 : I see. Thank you for sharing your memory with me.

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「c」と評価した。

【資料2】スコアレポートの例

「話すこと[やり取り]・質疑応答」のスピーキングテストを振り返ろう

○年 番号 001 氏名 A

- 2020年○月○日に、「思い出深い出来事」について会話するテストがありました。
- 「結果」を見て、下の()を埋めてください。これからの英語の勉強に生かしてください。
- テスト内容

あなたは思い出深い出来事についてクラスメートと会話をします。先生がクラスメートの役をします。先生が示すカードから一枚選び、そのカードに書いてあることについて、あなたからクラスメートに質問をすることで会話を始めてください。また、クラスメートからの質問にも答えてください。考える時間は15秒、会話の時間は90秒です。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自己評価	a	b	b
結果	b	b	b
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じた上で、関連する情報や自分の考え、気持ちを詳しく話して伝え合おうとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。 	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合っている。	相手の質問に適切に応じながら、関連する情報や自分の考え、気持ちを話して伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

この単元の学習を通してうまくできるようになったこと

()

うまくできなかったこと

()

うまくできるようになるために今後取り組みたいこと

()

その他の感想

()

事例3：話すこと [やり取り]・ディスカッション

1 単元の目標

日常的な話題（ボランティア活動）について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うことができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考えなどを、理由や具体例とともに述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 ・日常的な話題（ボランティア活動）について、情報や考えなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 	<p>一緒に参加する活動を決めるために、相手の発言に応じて、日常的な話題（ボランティア活動）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由や具体例とともに話して伝え合っている。</p>	<p>一緒に参加する活動を決めるために、相手の発言に応じて、日常的な話題（ボランティア活動）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどを理由や具体例とともに話して伝え合おうとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

教室及び別室（または廊下）

(2) 内容

参加するボランティア活動を決めるために話し合おう

(3) 準備物

- ・ボランティア募集の情報が書かれたチラシ（テストを受けるペアと準備するペア用に四枚）
※クラスによってテストの日程が異なる場合は、公平性を保つために複数種類用意し、実施日ごとに変えるなどの工夫をすると良い。
- ・ディスカッションを行うペアの名簿
- ・タブレット端末等の録画機器（1台）
- ・タイマー

(4) 実施時間

- ・一組（二人）当たり4分（事前準備2分，ディスカッション2分）
- ・複数の教師が採点にあたり，1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）程度での実施を想定

(5) 方法

<テスト日の流れ>

- ・テストの内容と採点の基準を確認し，生徒と共有する。

ペアの相手と一緒にボランティア活動に参加することになりました。ボランティア募集のチラシ【資料1】を見ながら、二人でどのボランティア活動に参加するかを話し合ってください。準備時間は2分間、話し合いは2分間です。話し合いでは、チラシに載っているすべての活動について検討をしてください。話し合いの内容を評価するので、2分間の話し合いで結論が出なくても構いませんが、結論を出すことを目標としてください。結論が早く出た場合は、ボランティア活動についてのやり取りを続けてください。

- ・教室を控室とし、ペアの二名ずつが別室や廊下等でテストを受ける。
- ・ペアで事前に相談することができないように、ペアは一組ずつ発表する。前のペアがテストを受けている間に、次のペアはチラシを見て個々に準備を行う。その際、二人で相談することは認められない。
- ・教師はその場で採点する。
- ・採点結果の確認のためテストの様子を録画する。録画したものを視聴して採点をすることも考えられる。
- ・授業中の活動の様子を観察しておき、話すことが苦手な生徒同士がペアにならないよう配慮する。

<採点>

同科目を指導している教師などの該当以外の教師が評価者として協力し、テスト会場を複数設けることで効率化を図ることも考えられる。この場合、事前に生徒の複数のパフォーマンスを想定して採点をシミュレーションするなど採点の基準について共通理解を図っておく。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。

条件1：チラシにある三つのボランティア活動のうち少なくとも二つについて、自分の意見を理由とともに述べている。
 条件2：相手の発言に対して、感想を述べたり、賛同や反対を示したりしながらやり取りを継続している。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現が適切に使用されている。	二つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて、やり取りを続けている。	二つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて、やり取りを続けようとしている。
b	多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝え合っている。	二つの条件を満たしてやり取りを続けている。	二つの条件を満たしてやり取りを続けようとしている。

c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
---	--------------	--------------	--------------

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（1時間の授業を想定）

※教科書の内容がボランティア活動に関するものと想定している。

- ・ボランティアを募集しているチラシを見ながら、一緒に参加するボランティア活動を検討している二人の会話を聞いて、概要を聞き取る。
- ・ボランティア募集のチラシ【資料2】を見ながら、それぞれの活動について魅力を感じる点と懸念される点を挙げ、クラス全体で共有する。
- ・前述の二人の会話をモデル文として「一緒にボランティア活動に参加するとしたらどの活動に参加するか」という内容で話し合う際に活用できる表現等を確認する。

[この単元で指導する表現例]

- ボランティア活動への参加について話すときに活用できる表現等
participate in volunteer work It may be a good chance to do...
meet new people learn new things practice our skills in...
I'm not good at -ing...
- 提案する時に活用できる表現等
How about -ing? I think... is good for us.
- 提案に対して意見や感想を述べる時に活用できる表現等
Sounds interesting! That's a great idea!
- 合意する時に活用できる表現等
OK. Let's do that. Then, let's choose...

- ・チラシを見ながら、「一緒にボランティア活動に参加するとしたらどの活動に参加するか」についてペアで話し合う。ペアを替えながら繰り返し活動を行う。

[この単元を含む複数の単元で継続的に指導する表現例]

- 理由や根拠を述べる I think [I don't think]..., because...
- コミュニケーションを円滑にするために繰り返す
A: How about doing some volunteer work together during the summer vacation?
B: Oh, volunteer work? I am interested in it. I think it would be fun to do together.
- 意見を求める
How about you?
- 同意・賛成する
That's true. I agree with you.

○ 反対する

I understand what you mean, but... I see your point, but...

授業上の留意点

授業中のペアワークで、相手が上手く話せない時に協力する方法や、会話がうまく続けられない時の対処方法を継続的に指導しておく。例えば、相手が表現等が分からず困っている際に、会話を継続する際の表現として“Do you mean...?” “Would you like to say that...?” と問いかけるなどの指導が考えられる。

5 フィードバック

- ・生徒に採点結果を示す。その際、「〇〇ができています」「今後〇〇できるようになると良い」という肯定的な表現を含めるなど、生徒の今後の目標や学習の改善につながるようにする。
- ・生徒は振り返りシートなどを活用して、自らの学習状況を把握し、目標達成に向けて今後の課題を明確化させる。

※生徒の発話及び採点の結果の例については【資料3】参照。

【資料1】 《パフォーマンステストで使用するボランティア募集のチラシ（例）》

Looking for Volunteers!
Work for our community and gain valuable experience

<p style="text-align: center;">Reading to Children</p> <p>Date: August 6 (Thur.) 16:00-17:00</p> <p>Work: Read books aloud to elementary school students</p> <p>Requirement: Be willing to work with children.</p>	<p style="text-align: center;">Workshop Assistant</p> <p>Date: August 13 (Fri.)</p> <p>Work: Work as an assistant at a Japanese culture workshop for Canadian high school students visiting our city</p> <p>Requirements: Be interested in international exchange</p>
<p style="text-align: center;">Animal Shelter Staff</p> <p>Date: September 11 (Sun.)</p> <p>Work: Take care of cats and dogs that have been abandoned and are looking for a new home.</p> <p>Requirements: Be willing to work with animals</p>	

Seeking Volunteers!
Work for our community and gain valuable experience

Community Garden Volunteer

Date: September 4 (Sun.)
Work: Plant and take care of community gardens in our city
Requirement: Enjoy the natural beauty of our city!

Teaching Children

Date: July 23 (Sat.)
Work:
Help elementary school children with their studies.
Requirements:
Be interested in teaching and willing to communicate with children.

Tour Guide

Date: August 7 (Sat.)
Work: Show visitors around historical sites in our city and explain the history.
Requirement: Be interested in history and willing to meet people.

【資料3】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【生徒Aと生徒B】

生徒A : Which volunteer activity is interesting for you?

生徒B : Uh... I'm interested in workshop assistant... because... I want to speak English with the other foreign... foreign student. So I like to do workshop assistant. How about you?

生徒A : Ah yeah. Sounds interesting. And it is a good chance to use our English skill... But I'm afraid that I'm busy with club activity on that day.

生徒B : Oh, I see. In that case, let's try different volunteer activity... What do you think about other activities?

生徒A : I think animal shelter staff is interesting. I like animals. They are very cute.

生徒B : I like animals, too. Many pets are abandoned. It is important to help them.

生徒A : That's true. It's serious problem.

生徒B : Um... what do you think about reading to children? Do you like children?

生徒A : Um... I like children... but... I'm not good at speaking in front of people. It is difficult for me.

生徒B : Then, let's choose animal shelter staff.

生徒A : OK.

生徒B : Um... you like animal. Do you have pets?

生徒A : Yes, yes. Rabbit. Its name is Ponta.

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒A、生徒Bともに全ての観点で「a」と評価した。

【生徒Cと生徒D】

生徒C : Which volunteer do we go... and... which volunteer do you think the best?

生徒D : I think reading to children is interesting. Um... this is because I like playing with children. So it is very um... attractive for me. How about you?

生徒C : Oh yeah. I think so too... but unfortunately, I... the... I did it when I was junior high school student. So, ... I want other volunteer.

生徒D : Oh, OK. Which volunteer?

生徒C : How about work as workshop assistant?

生徒D : I think that's a grea... great idea.

生徒C : I think if we join this volunteer, we can make friends in other countries.

生徒D : I see your point, um... but I am not very good at speaking English.

生徒C : Oh, I see.

生徒D : How about doing animal shelter staff? I like animal. I think taking care of animal is good for us.

生徒C : Sounds interesting. I like animal, too.

生徒D : OK, let's do that.

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒C、生徒Dともに全ての観点で「b」と評価した。

【生徒Eと生徒F】

生徒E : How about helping shelter animal staff? Nowadays, many cats and dogs are abandoned and are looking for new home. I think we should help... for them.

生徒F : I agree. ... (えーつと) How about reading to children? (えー) I can I can... enjoy.

生徒E : Um... I am not good at communicating with children, so I am... I don't want to do this work.

生徒F : ...

生徒E : So... how about workshop assistant? ... I think it's interesting because we can make friends with students from Canada.

生徒F : That's a good idea. ... In that case, you are right. ... I'm agree with you.
... (沈黙) .

生徒E : OK, let's choose workshop assistant.

生徒F : OK. ...

生徒E : Uh... do you have any foreign friend?

生徒F : ... No. ...

生徒E : Me, too. I don't have.

「(6) 採点の基準」に沿って、生徒Eは全ての観点で「b」、生徒Fは全ての観点で「c」と評価した。

事例4：話すこと [発表]・スピーチ

1 単元の目標

社会的な話題（特定の人物）について、聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを理由とともに話して伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 社会的な話題（特定の人物）についての情報や考えなどを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	<p>聞き手に素晴らしさが伝わるように、社会的な話題（特定の人物）について情報や考えなどを、理由とともに話して伝えている。</p>	<p>聞き手に素晴らしさが伝わるように、社会的な話題（特定の人物）について情報や考えなどを、理由とともに話して伝えようとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

教室内

(2) 内容

尊敬する人について話して伝えよう

(3) 準備物

- ・タブレット端末等の録画機器（10人に1台程度）
- ・タブレット端末固定用の三脚
- ・発表に対するコメントシート【資料1】
- ・タイマー

(4) 実施時間等

- ・一人当たり1分
- ・1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）程度での実施を想定

(5) 方法

<事前の準備>

- ・採点の基準を確認し、生徒と共有する。

日本や海外で活躍する人物または歴史上の人物の中で、生き方や考え方などが素晴らしいと感じる人物をあげて、その人物を知らない人にも、どのようなことをした人なのかが分かるように紹介し、素晴らしいと思う理由を述べてください。話す時間は1分程度です。メモを作成して、必要に応じてメモを参照しながら話しても構いません。

<テスト当日の流れ>

- ・10人程度のグループに分けて、各グループにタブレット端末等の録画機器と三脚を用意する。この際、カメラのマイクはなるべく発表者の声を拾う位置に調整する。グループごとに距離をおいて、スピーチが聞き取りやすい環境を整える。
- ・各生徒に必要な枚数のコメントシートを配付する。
- ・生徒は、各グループ内で発表の順番を決めて、スピーチを行う。発表者以外の生徒は、スピーチ終了後に1分程度でコメントシートを記入し、発表者に渡す。
- ・発表後の拍手などで他のグループの発表者の声が聞き取りにくくならないよう注意を促す。
- ・教師がタイムキーパー役となり、四つのグループが同じタイムテーブルで進行するよう配慮する。
- ・活動の様子を録画する。

<採点>

- ・教師は、授業後に録画映像を見て、次に示す採点の基準によって評価する。
- ・一人ずつクラス全員の前に出て発表する形式、あるいは、他の教師の協力を得て複数会場を設けてそれぞれの会場で一人ずつ前に出て発表する形式も考えられる。その場合は、テストの実施と同時に採点を行う。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件を全て満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。

○「思考・判断・表現」についての条件

条件1：素晴らしいと思う人物をあげて、その人物の業績や偉業などを述べている。
条件2：その人物が素晴らしいと思う理由を述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている ・理解に支障のない程度の音声等で話している。 	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標、評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（5時間程度の授業を想定）

- ・特定の人物（偉業を成し遂げた人物、スポーツ選手、科学者など）について書かれた教科書の英文を読んで概要を把握し、要点をアウトラインにまとめる。
- ・アウトラインを参考に、偉業を成し遂げた人物を知らない人にも分かってもらえるように紹介し、その人物についてどう思うかを理由とともに述べる活動を行う。以下に手順を示す。
 - (1) 教科書もしくはモデルとなるような英文【資料2】を読んで、人物を紹介する際になる表現などを確認する。
 - (2) 人物についての印象等を述べるときに使用できる表現について確認する。

[指導する表現例]

- 人物を導入する
Let me talk about my favorite... ... is one of the people who I admire.
- 人物を説明する
[関係代名詞] She is a scientist who... He was a journalist who...
[時を表す副詞句・副詞節など] When she was little..., ... Then...
After that... Now... At the age of...
- 人物の職業などについて述べる
scientist journalist politician novelist astronaut architect
- 功績を述べる
discover a method to do reach... for the first time in history
contribute to world peace win the Nobel Prize set a world record for...
[その他] He is famous for... She became famous for ...
- 人物についての意見を理由とともに説明する
I admire/like... because... This is why I respect...
I've learned from him that...

- (3) 別の特定の人物について書かれた英語の資料を読み、その人物を他者に紹介し、自分の意見を理由とともに述べるように準備をする。その際、ワークシート（【資料3】Malala Yousafzaiについての英文を読むことを想定）を活用しながらアウトラインを示すメモを作成する。スピーチは1分程度とする。教師は二人の異なる人物についての資料を用意しておき、ペアで互いに異なる人物について話すことができよう配慮する。
- (4) 相手を替えながら、ペアで準備した内容について伝え合う。
- (5) パフォーマンステストの内容を共有し、紹介したい人物を各自で決める。必要に応じて情報収集を行い、ワークシート【資料4】を使ってメモを作成する。

指導上の留意点

- ・聞き手に分かりやすい声の大きさや、速度、発音で話すよう指導する。

5 フィードバック

- ・教師は所定のクラウド上のフォルダに発表の映像を保存する。
- ・生徒は自分の発表の映像を見て、発話の内容を書き起こすなど、自分の発話を確認する。伝えたいことがより適切に伝わるために、自分の発話を言い換えたり、新たに書いたりする。
- ・振り返りシートなどを活用して、目標達成に向けて自分の取組を確認し、次への目標や学習の見通しをもたせる。

※評価結果については【資料5】参照。

【資料1】パフォーマンステスト実施時のコメントシートの例

Your Name ()	Speaker's Name ()
Speaker's strong points			
<input type="text"/>			
Your advice to make the speech better			
<input type="text"/>			

【資料2】モデル英文の例

Walt Disney is one of the people I admire. He was a cartoonist who created the famous character, Mickey Mouse.

When he was a boy, he loved drawing. He drew funny cartoons for his friends. Even in difficult times, such as during the war, he didn't give up drawing.

He made the first cartoon film with sounds. After that, he created many popular animation movies. He also wanted to make a place where families could have fun together. The idea was realized when the theme park Disneyland opened.

I admire him especially because he kept his dream and didn't give up trying. He said, "If you can dream it, you can do it." His words remind me of the importance of following my dream.

【資料3】スピーチのアウトラインをキーワードで示すためのワークシートの例

Class () No. () Name ()

A Person of Great Achievement

《Preparation》

Make notes for your speech by answering the questions in the left column.

Necessary Information	Your Speech Notes
Who?	1 Malala Yousafzai
What did the person do? What does the person do?	2 UN / education / Malala Day
What do you think about the person? Why?	3 brave / shot / girls / school

【資料4】スピーチのアウトラインをキーワードで示すためのワークシートの例

Class () No. () Name ()

The Person who I admire

《Preparation》

Make notes for your speech by answering the questions in the left column.

Necessary Information	Your Speech Notes
Who?	1 Otani Shohei
What did the person do? What does the person do?	2 Baseball / MBA / Two-way player
Why do you admire the person?	3 polite / smile / trash

【資料5】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【生徒A】

Let me talk about Ichiro. Ichiro is... you know Ichiro is most famous Japanese major leaguer. He made more than 3,000 hits in Japan and major league. I admire him because he is a person of making effort. You may think he is just talented, but I... I... learned that he made a lot of routines in his... um... in his daily lives. And for example, he made a routine in... the... uh... what he did in the next batter's circle. So... I think, like him, I have to make my routine and I have to keep my habit in daily lives.

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「a」とした。

【生徒B】

Shinya Yamanaka is one of the people I admire. He is a doctor who created iPS cell... cells and won Nobel Prize. Many people imagine he is a genius, but actually... but actually he... when he was a university student he was... he was always scolded by his boss. He thought, "I am not a good doctor." But he made the effort to... to save the patient. And finally, he made iPS cells. I've learned that you should make efforts. That's all.

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「b」とした。

【生徒C】

I talk about Otani Shohei Otani. Mmm... Shohei is... baseball player. えー, His home... Iwate. えー, he go to Koshien. He playメジャーリーグ in America. えー... he is pitcher and batter. Good player... えー many people like him. ... I think so. I belong to a baseball club, ... I... like him. (残り時間は沈黙)

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「c」とした。

事例5：話すこと [発表]・ポスターセッション

1 単元の目標

社会的な話題（生物模倣学による商品開発）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを理由とともに話して伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 社会的な話題（生物模倣学による商品開発）についての情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	<p>聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、生物模倣学による商品開発についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えている。</p>	<p>聞き手に自分の考えをよく理解してもらえるように、生物模倣学による商品開発についての情報や考えを、聞いたり読んだりしたことを基に、理由とともに話して伝えようとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

教室内

(2) 内容

生物模倣学による商品開発について話して伝えよう

(3) 準備物

タブレット端末等の録画機器（4台）、ICレコーダー（4台）、A3の用紙（生徒の人数分）

(4) 実施時間等

- 一人当たり3分（10人ずつ4グループに分かれて実施）
- 1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）程度での実施を想定

(5) 方法

<事前の準備>

- 生物模倣による製品の新しいアイデアをまとめたA3サイズのポスターを作成させる。
- テストについて、生徒に以下の内容を伝えておく。
 - ※アイデアについては、実現可能性を問わないこと。
 - ※解決すべき課題の背景や、提案する製品がどのように課題の解決に貢献するのかを具体的に伝えることが大切であること。
 - ※評価の対象が発表の部分のみであること。

<テスト当日の流れ>

- ・テストの際に使用するワークシートを生徒に配付する。他の生徒が発表した内容についてメモを取るとともに、他の生徒の発表に対し、最低一人に質問をし、質疑応答の内容を書き込むよう指示する。【資料1】
- ・生徒は四つのグループ（各グループ10人）になり、各グループが教室の四隅に分かれる。各グループにおいて一人ずつポスターを示しながら2分間でアイデアを発表し、発表後1分間で質疑応答を行う。（テスト）
 - ※教師がタイムキーパーを務め、各グループの進行が遅れないようにする。
 - ※タブレット端末等の録画機器を活用し、採点に活用するため各グループでの発表の様子を録画しておく。万一に備え、ICレコーダーで音声のみも録音しておく。
- ・全体的なフィードバックを行う。

<採点>

採点については、録画した動画を基に採点する。

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、三つの条件を全て満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：ポスターによる視覚情報を適切に活用しながら、現在の解決すべき課題について述べている。
条件2：課題の克服のためのヒントを得ることができる生物とその生物の特性を述べている。
条件3：結果としてどのような製品ができるかについて述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・語や句、文における強勢やイントネーションなどの英語の発声の特徴をとらえ、正しく発音している。 	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えている。	三つの条件を満たした上で、関連した情報や自分の考えを詳しく述べて伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の発音で話している。 	三つの条件を満たして話して伝えている。	三つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と、評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（7時間程度の授業を想定）

- ・教科書の英文（環境問題や生物の特徴等の話題について書かれた英文を想定）を聞いたり読んだりして概要や要点を把握するとともに、教科書本文の内容や写真、図表等を説明する活動を行う。また、その際、他の生徒の説明に対する質問やコメントの仕方を学ぶ。
- ・単元の学習終了時に、生物模倣学に関する英文が書かれたワークシートを配付する。概要や要点を把握する活動を行う。教科書やワークシートの英文の構成や、使用されている言語材料を参考に、新たなアイデア（身の回りの課題を克服するための生物の特徴を基にした新たな製品案）をポスターにまとめる。【資料3】

[指導する表現例]

- 事実や情報を説明する表現
According to the graph, ... From this chart, ... This graph shows...
You can see here that...
- 生物の能力等を描写する表現
They are better at... than... They are known for... They can...
- 結果を表す表現
If..., then... Then, ... Therefore, ... This enables us to...
This will...
- 聞き手の注意をひく表現
Do you know that...? Have you ever heard that...?

指導上の留意点

- ・説明したり理由を述べたりする際に使用する表現や、説明に対して質問やコメントを行う際に使用する表現を例示する。
- ・新たなアイデアをポスターにまとめる際、内容面について生徒が考える機会を設定するため、ペアやグループでブレインストーミングをさせたり、教師やALTのスピーチをモデルとして例示したりすることで良い発表について考える。

5 フィードバック

- ・録画した動画を用いて、良い発表例を全体で共有する。
- ・生徒に自身の発表を録画した動画を視聴させ、使用した言語材料や発音等について気付いたことや、今後の学習に関する目標等をレポートとして書かせる。教師はレポートに対してコメントを書く。

【資料1】テスト実施時に使用するハンドアウト例

クラスメートの発表を聞いて、メモを取りましょう。また、質疑応答の時間にあなたが行った質問と発表者から得た回答を書きましょう。

【留意点】

*あなたが発表する順番の欄は空白にしておくこと

*他の生徒の発表を聞き、最低でも一人には質問をすること

発表者1 名前()

発表(メモ)

質疑応答

質問:

回答:

発表者2 名前()

発表(メモ)

質疑応答

【資料 2】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【生徒 A】

ア) 生徒の発表例

My brother and I share a room. Sometimes I need to do my homework at night, but I can't do that because my brother is already asleep. When that happens, I always wish that I could study even in the dark. I think many people have the same problem.

Do you know that cats can see in the dark? Please look at these pictures. These are the pictures of a human eye and a cat's eye. Inside the cat's eye, there is a layer of tiny crystals. This layer reflects light very well. Cats also have larger eyes for their body size than people do. This helps cats take in far more light into their eyes. According to a study, cats need one-seventh the amount of light that humans do to see things.

I think we can create new glasses or contact lenses based on this cat eye technology. Then people can see better in the dark wearing them. This would help students like me to study for a longer time.

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒 B】

ア) 生徒の発表例

Look at the graph. According to the survey which is... by the Ministry of International Affairs and Communications, more than 65% of the people in Japan have smartphone. This is the result of the survey done by a company. You can see here that the most... damage happens to a smartphone is the screen. That happened to me, too and it pay... cost a lot of money to fix.

Look at this picture. This is a picture of a cat. Have you ever heard that when cats fall, they can (ジェスチャーで手のひらを下にしながら猫が落ちている様子を指しながら) this way most... time? Isn't it amazing?

If we study why cats can do that, we can get a hint ... how to develop a new smartphone case that can protect the smartphone. This tool will change your life!

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒 C】

ア) 生徒の発表例

Do you like... a shot? I... think... many people like it. I hate... shot. I sometimes sick or... faint when I get a shot... because of I... fear. Therefore, ... I always have to lie... bed.

According to the book I read, a lot of... same problem a lot of people... have.

This is a picture of mosquito. Mosquito can... mosquito can... get blood. They can bite... not people... notice.

We can make... get... blood.

イ) 採点の結果

「(6) 採点の基準」に沿って、全ての観点で「c」と評価した。

【資料3】単元の学習後に生徒に提示する英文例

Biomimetics

Biomimetics is the study of nature intended to enable us to understand how natural processes thrive or solve problems. Humans have been curious about nature for centuries. We observe nature and use our imagination to apply what we have discovered to create many products and advancements in technology. Copying what occurs in nature can help scientists create new ways for humans to improve their lives. Some environmental problems have even been fixed through biomimetics.

For example, the problem of heating and cooling a house using gas or oil leads to negative environmental effects such as air pollution, water pollution, thermal pollution, solid waste disposal and climate change. To solve the problems of the rapidly changing temperature that occurs in Africa, one architect examined termites to understand how they build their mounds. Termite mounds consist of many chimneys and air holes that naturally allow air to warm or cool it as it flows through them. In this way, the architect of a shopping center in Zimbabwe used chimneys and windows to construct a building that stays at reasonable temperatures throughout the year. The building does not rely on a conventional air conditioning system that would use large amounts of energy.

Another example can be seen in how lotus plants repel water and dirt. Keeping a home or business clean can require several cleaning products that may cause harm to the environment. Lotus plants have microscopic bumps on their surface that keep the dirt at the surface until the rain simply washes it away. This solution for keeping a surface clean is being used to make exterior wall surfaces that are self-cleaning. This means people can stop using harmful chemicals to keep buildings and homes clean. If the surfaces are kept clean for a longer period of time, we will also be able to cut down on the need to repaint them.

In conclusion, nature affords many unique and useful processes and attributes that can be used to improve our environment. Be curious about nature so that we can preserve it.

英文では、バイオミメティクス（生物模倣学）により、環境問題を解決する取り組み例が二つ記載されています。二つの例についてまとめた表を完成させてください。

	課題	動物とその特徴	開発されたもの
例1			
例2			

事例6：話すこと [発表]・プレゼンテーション

1 単元の目標

日常的な話題（日本の紹介や文化祭での出し物）について、聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えを理由とともに話して伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現、音声等を理解している。 日常的な話題（日本紹介や文化祭でのクラスの出し物）についての情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	<p>聞き手に自分の提案を選んでもらえるように日本の紹介や文化祭でのクラスの出し物についての情報や考えを、理由とともに話して伝えている。</p>	<p>聞き手に自分の提案を選んでもらえるように日本の紹介や文化祭でのクラスの出し物についての情報や考えを、理由とともに話して伝えようとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

廊下または別室

(2) 内容

文化祭でのクラスの出し物の提案について伝えよう

(3) 準備物

タブレット端末等の録画機器（録画用1台）と固定器具、タイマー、実施方法などの資料、採点用紙

(4) 実施時間等

- 一人当たり1分
- 1クラス（40人）当たり1単位時間（50分）程度での実施を想定

(5) 方法

<事前の準備>

- 同じ科目を担当する教師と採点方法を確認する。必要に応じて採点のシミュレーションを行う。生徒がテストの内容に合致しない発話を行った場合等の対処法も相談しておく。
- テストの内容を提示する。

文化祭が近づき、クラスの出し物を決めることになりました。留学生とクラスメート四人が参加するミーティングで出し物の提案をしてください。先生は留学生役で司会をします。一人1分間で、出し物に関連することが描かれたスライドか絵を使って、提案の内容とその理

由を話してください。

- ・生徒はアウトラインやメモを作る。原稿を作ることも考えられるが、テスト中に原稿を読むことはできない。アウトラインやメモの使用は可とする。聞き手に分かりやすく伝えることに意識しながら話すよう指導する。
- ・生徒はスライドか絵を用意する。テストでは、スライドや絵を見せながら発表を行う。

<テスト当日の流れ>

- ・4人グループを作る。生徒はグループごとにテストを受ける。
- ・各グループのテスト終了後に、各グループ内で最も魅力的な出し物を提案した生徒を選び、再度発表させる。クラスで最も魅力的な提案を選ぶことも考えられる。

<採点>

- ・教師はその場で採点を行う。録画した動画を基に採点を行っても良い。
- ・生徒の自己評価や相互評価をテスト後に行うことも考えられる。【資料1】

(6) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての二つの条件

条件1：文化祭でのクラスの出し物をスライドや絵を適切に用いながら提案している。

条件2：出し物の提案を適切な理由とともに述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	二つの条件を満たした上で、出し物を提案する理由を詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、出し物を提案する理由を詳しく話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。 	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（4時間程度での指導をイメージ）

- ・留学生に向けた日本を紹介する出し物の企画を提案し、どの出し物にするかを話し合っているモデル英文を聞いたり読んだりする。その中で、自分の意見を適切に伝えるための表現や方法について学ぶ。

[指導する表現例]

- 企画を提案・説明する表現

I'd recommend having... I think we should have...

I would like to propose... Let me explain about...

I'm going to summarize...

- 理由を提案する表現

There are two reasons why I recommend this. First, ... Second, ...

This idea is attractive because... This is why we should do...

- 質問することで聞き手を引き付ける表現

Do you know...? Have you ever heard of...? Can you imagine...?

- ・日本を紹介する出し物の提案をペアで行う。その活動に向けて、モデル英文や学んだ表現等を確認したり、スライド等を作ったりする。
- ・ペア活動での自分のプレゼンテーションを録画し、聞き手に分かりやすく発表できているかを確認する。ペアを替え、発表を行う。

指導上の留意点

- ・プレゼンテーションでは、モデル英文とは違う出し物を提案させる。
- ・複数のモデル英文を提示し、それぞれの出し物について考えたり、使用されている語彙や表現などを確認したりする。
- ・聞き手に目を向けながら話すといった話し方や、聞き手としての態度などを指導する。
- ・出し物の提案とその理由といった内容とそれらが適切に伝わるように使用されている語彙や表現、文について確認する。

5 フィードバック

- ・生徒の学習の改善につながるようスコアレポートを作成し、生徒に返却する。【資料3】
- ・録画した複数の発表を全体で視聴し、良い点や改善点を考える。その際、事前に発表者に許可を得ておく。
- ・スコアレポート、自己評価、相互評価、自分や他の生徒のプレゼンテーションを通して、次への目標や学習の見通しをもたせる。

【資料1】自己評価・相互評価表の例

話すこと(プレゼンテーション)の自己評価・相互評価をしよう

○年 番号 001 氏名 A

自己評価・相互評価

	知識・ 技能	思考・判 断・表現	主体的に学習に 取り組む態度	理由
例	b	b	b	詳細がないため
(自分の名前。自己評価)				
(同グループの人の名前1)				
(名前2)				
(名前3)				

テストで言いたかったが言えなかったことを書こう

I'm sure everyone will like it.

【資料 2】生徒の発話及び採点の結果の例 ※文法等の誤りを含む

【生徒 A】

Hi, everyone. I'd recommend having a photo show. There are two reasons why I recommend this. First, people can know our class better. A photo show will introduce everyone in our class in picture. We will show our pictures now and past. If we show our picture when we are... were babies, it's fun. Second, it's easy to make a photo show. Just bring many pictures. Don't forget bring... to... to bring baby pictures. We will put the pictures on big paper. People can enjoy our pictures. I think a photo show is very good.

(6) 「採点の基準」に沿って、全ての観点で「a」と評価した。

【生徒 B】

Hello, everyone. I think we should do café.... Café is good for two reasons. First, it's fun. Visitors can come to café. Visitors see many people in café. They can talk each other. Second, visitors can enjoy some drink and food. ... We can make... coffee and tea and juice. ... And pancake and we wear... cute clothes. Visitors and we can enjoy café.

(6) 「採点の基準」に沿って、全ての観点で「b」と評価した。

【生徒 C】

Hello everyone. Do you... know octopus? Octopus is this. I... I would like to propose... *Takoyaki*, octopi's ball. I like *Takoyaki* very much. Do you like *Takoyaki*? We will have Takoyaki party. Our class make... *Takoyaki*. And people... eat... *Takoyaki* with... mayonnaise.... Cheese is good. Negi, onion... green... what do... do you like *Takoyaki*? *Takoyaki* is very delicious. I think *Takoyaki* is best.

(6) 「採点の基準」に沿って、全ての観点で「c」と評価した。

【資料3】スコアレポートの例

話すこと(発表・プレゼンテーション)のスピーキングテストを振り返ろう

〇年 番号 001 氏名 A

- 202〇年〇月〇日に、「文化祭での出し物の提案」についてのテストがありました。
- 結果を見て、下の()に書きましょう。これからの英語の勉強にいかしてください。
- テスト内容

文化祭が近づき、クラスの出し物を決めることになりました。留学生とクラスメート四人が参加するミーティングで、出し物の提案をしてください(先生は留学生役で司会)。一人40秒で、出し物の中身が分かるスライドか絵を使って、提案の内容と、その理由を話してください。

条件1:スライドか絵を見せながら、文化祭でクラスの出し物を提案し、その説明を行っている。

条件2:出し物の提案を適切な理由とともに述べている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自己評価	b	a	a
結果	b	b	b
a	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現が適切に使用されている。 ・聞き手に分かりやすい音声等で話して伝えている。 	二つの条件を満たした上で、出し物を提案する理由を詳しく話して伝えている。	二つの条件を満たした上で、出し物を提案する理由を詳しく話して伝えようとしている。
b	<ul style="list-style-type: none"> ・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の語彙や表現を使って話して伝えている。 ・理解に支障のない程度の音声等で話している。 	二つの条件を満たして話して伝えている。	二つの条件を満たして話して伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

この単元の学習を通してうまくできるようになったこと

()

うまくできなかったこと

()

うまくできるようになるために今後取り組みたいこと

()

その他の感想

()

事例7：書くこと（日常的な話題・電子メール）

1 単元の目標

日常的な話題（高校生のアルバイト，学校の制服）について，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現等を理解している。 ・日常的な話題について，情報や自分の考えや意見などを理由や具体例とともに書いて伝える技能を身に付けている。 	<p>読み手に納得してもらえるように，情報や自分の考えや意見などを論理性に注意して理由や具体例とともに書いて伝えている。</p>	<p>読み手に納得してもらえるように，情報や自分の考えや意見などを論理性に注意して理由や具体例とともに書いて伝えようとしている。</p>

3 テストについて

(1) 場所

教室（授業や考査時での実施。本テストについては20分で実施することを想定）

(2) 内容

外国の高校生からのメールに返信をしよう

(3) 準備物

問題と解答用紙，又は，提出するためのクラウド上の保存場所 【資料1】

(4) 方法

<事前の準備>

- ・同じ科目を担当する教師と採点方法を確認する。
- ・生徒とテストの内容や解答方法などを確認する。

<テスト当日の流れ>

- ・次の課題を採点の基準と併せて配付する。

オーストラリアの高校生の David から，あなたにメールが届きました。自分の意見を理由や例とともに書いて返信してください。

Today I learned that almost all Japanese high school students wear uniforms. I also wear my school uniform and I like it. However, I heard many students in the US don't wear school uniforms. So, now I know that the situations differ from country to country. Do you think it is better for high school students to wear uniforms? Why or why not? I am looking forward to your reply! --- David

- ・20分で書いた後、生徒は原稿を提出。
- ・教師は採点の基準によって評価を行う。その後で、良い作品を紹介する。全体として共通する論理の構成や表現などについては、生徒が書いた文章の具体例を示しながら、クラス全体で指導する。

(5) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、二つの条件をどちらも満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての二つの条件

条件1：話題に関連した自分の考え、意見などを明確に書いている。

条件2：理由や具体例を書き、書いた考えや意見などを支えている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・パフォーマンステストの内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（3時間程度の授業を想定）

- ・教科書の内容が、世界各国の高校生の生活や状況に関するものと想定している。授業で扱う話題については【資料3】参照。
- ・他の生徒と話したり、アイデアを書いたりして書く前に自分の考えを整理する。
- ・ブレインストーミング時に書いたアイデアやアウトラインなどを基に、モデル英文、その内容の展開のさせ方や有用な表現例等を参考にして下書きを20分で書く。

[指導する表現例]

- 自分の考えや意見などを書くための表現例

I (don't) think that... We should... It is important for us to...

I agree with... I assume that... In my opinion, ...

- 考えや意見などを支えるための理由や具体例を書くための表現例

(理由) That is because... The reason is that... In fact, ...

(具体例) For example (instance), ... particularly ... such as ... including ...

- 下書きの完成後、モデル英文を読んで、使用されている表現や内容の展開のさせ方などについて確認する。自分の原稿をモデル文と比較しながら読む。【資料4】
- 推敲を行う。ICTが活用できる場合は、アプリケーション等を用いて、語の使用や綴り、文法の間違い等を訂正することも考えられる。
- 作品が完成したら、ペアやグループで互いに読み合い、採点の基準の条件を満たしているかなど内容について確認する。また、良い作品を選び、その優れている点を分析する。
- 自分の作品を読み直して原稿を再度推敲し、提出する。
- テストまでに、書くための時間や採点の基準の条件などを同じにして、「ボランティア」、「宿題」、「スポーツ」、「ゲーム」などの日常的な話題から自分で書く話題を選んで書く活動を行う。
- テストを実施する。【資料1】
- テストを提出後、生徒はスコアレポートを完成させる。【資料5】

指導上の留意点

- 推敲する際には、内容面及び言語面がより充実するよう指導する。
- 言語面に関しては、中学校を含めそれまでの既習表現を適切に使えるように指導したり、辞書やコーパス等を活用して、より多様な表現ができるように指導したりすることが考えられる。
- ICTを活用して、授業で提出した作品をクラスで共有したり、先生からのアドバイスやコメントを相互に確認したりすることも考えられる。

5 フィードバック

- 生徒の作品の表現内容の適切さという内容面や英語使用の適切さという言語面の優れている点についてフィードバックを行う。
- 自分の文章と、教師が示した文章やオンライン上で得られた文章を比較するなど、自分自身で表現力の豊かな文章にするような機会を与えることも考えられる。
- 言語面について、全ての間違いを訂正するようなフィードバックではなく、本課題で使用された理由や具体例を書くための表現などに重点を絞ったフィードバックをするなど、指導者の負担にも配慮しながら効率的なフィードバックを行いたい。

【資料1】 ペーパーテスト用配付用紙

オーストラリアの高校生の David から、あなたにメッセージが届きました。自分の意見を理由や例とともに書いて、返信してください。

Today I learned that almost all Japanese high school students wear uniforms. I also wear my school uniform and I like it. However, I heard many students in the US don't wear school uniforms. So, now I know that the situations differ from country to country. Do you think it is better for high school students to wear uniforms? Why or why not? I am looking forward to your reply!
 --- David

[Your reply]

【評価について】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	語彙や表現の選択に優れ, 理解しやすい英文を用いて書いている。	二つの条件を満たした上で, 関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で, 関連する情報や自分の考えや意見などを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが, 理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

条件1: 話題に関連した自分の考え, 意見などを明確に書いている。

条件2: 理由や具体例を書き, 書いた考えや意見などを支えている。

【資料2】 生徒の解答例と評価例 ※文法等の誤りを含む

○ 解答例1

Hi, David! In my opinion, it is better for us to wear school uniforms. I feel lucky when I wear my school uniform. Thanks to uniform, we don't have to think about what to wear in the morning, and it helps us study more. Firstly, in the morning, I never have time to choose what to wear because I want to stay in bed for as long as possible. It was the same yesterday as well. You know high school students need more time to sleep! Secondly, school uniforms surely support students to study more. When I wear my uniform, I feel that it's time to study! So, they are definitely useful for me. If US schools haven't introduced school uniforms yet as you wrote, they should introduce them. Uniforms can be something that will encourage them to be successful. What do you think of my opinion?

Regards, Yasuko

「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「a」と評価した。

○ 解答例2

Hello David! How are you? I think we don't need a uniform. That is because students should decide our cloths, not teachers. For example, I like zubon, but I must wear skirt. It's not good. We need free. School is place to learn teacher say. And we can learn if we don't wear it. When I was a elementary school student, I didn't wear it. But I studied. I think American school is good. So, I think it is not better for high school students to wear uniform. Good-bye!

Your friend, Misaki

「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「b」と評価した。

○ 解答例3

Hi David! Do you like school uniforms? I think it is better for high school students to wear school uniforms. In my school, we wear school uniforms. It's good. Because I like school uniforms. But I don't like study. American Student don't wear uniforms. It's America. See you.

Haruto

「(5) 採点の基準」に沿って、「知識・技能」は「b」,「思考・判断・表現」及び「主体的に学習に取り組む態度」は「c」と評価した。

【資料3】 授業で生徒に配付する資料1

韓国の高校生の Duri から、あなたに次のメッセージが届きました。自分の意見を理由や具体例とともに返信を書いてください。

Hi! These days I am very busy because I must study and work hard. I'm now working at a very popular restaurant with delivery service after school. Unfortunately, I have tests at school soon, so I'm wondering if I should stop working for a while. Today I learned that about 20% of middle or high school students are working in Japan. Do you think it is better for high school students to work part-time? Why or why not? I am looking forward to your reply! --- Duri

○ What do you think?

Part-time jobs

○ Let's write your first draft!

○ 意見や主張を書くときに気をつけること。

(1) 中学校で学んだ助動詞や形容詞の構文を使って、主張を表してみよう。

例: High school students should not work part-time.

It is important for high school students to work part-time.

(2) 主張のあとには、説得力が高まるように、理由や具体例を書こう。

例: It is important for high school students to work part-time. It is true that you can learn from books and textbooks, but (理由) there are also some things you can learn from experience. (具体例) For example, when you work part-time, you can learn how to show hospitality to customers. So, high school students should work part-time.

使ってみよう!



【資料4】 授業で生徒に配付する資料2

○ 原稿を書いた後で、他の人の意見を読んでみよう!

[Other Students' Opinions]

他の人の①考えや意見など, ②理由, ③具体例にそれぞれ下線を引き, どのように書いているか確認しよう。



① High school students should get a part-time job. ② They can gain not only money but also experience that will be useful in the future.
③ Having a part-time job, for example, can improve your communication skills and teach you the importance of responsibility.
I think all these skills will be useful for your future. (K)

I agree that high school students should work part-time. By having a part-time job, we can first learn how to make money. Also, we can learn how to use money without wasting it. After the first payment, we usually spend money without thinking twice and regret it. But that experience is a good lesson for us. So it's a good idea to get a part-time job while we are still in high school and learn about money. (M)



High school students are too busy to work. If you work part-time, you will not get enough sleep in the end. You can't cut back on time for classes, part-time jobs, or time to hang out with friends. Therefore, you must cut down on your sleep time. If you can't sleep enough, you will be tired, and your studies and work will all go in the wrong direction. What is crucial for high school students is to learn what they need for their future and to stay healthy. Your time is much more important than getting money. (O)

○ 語彙や表現については, 辞書やオンラインのサイトなどを使って使用例や結びつきの強い語 (例: too busy to work や work part-time, stay healthy など), 同意語 (例: crucial, important, essential, earn money, make money など) 等を検索してみよう。

【資料5】 スコアレポートの例

書くことのペーパーテストを振り返ろう

○年 番号 022 氏名 門下 花子

- 202X年YY月ZZ日に、制服について自分の考えを書くテストがありました。
- 「結果」を見て、下の()を埋めてください。これからの英語の勉強に生かしてください。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自己評価	a	b	b
結果	b	b	b
a	語彙や表現の選択に優れ、理解しやすい英文を用いて書いている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考えなどを詳しく書いて伝えている。	二つの条件を満たした上で、関連する情報や自分の考え、意見を詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	二つの条件を満たして書いて伝えている。	二つの条件を満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

条件1:自分の考えや意見を明確に書いている。

条件2:理由や具体例などを書き、自分の考えや意見を支えている。

単元の学習を通してうまくできるようになったこと

()

うまくできなかったこと

()

うまくできるようになるために今後取り組みたいこと

()

その他の感想

()

事例 8 : 書くこと (社会的な話題・論証文)

1 単元の目標

社会的な話題 (グローバル化, AI) について, 意見や主張などを理由や具体例とともに論理の構成や展開を工夫して書いて伝えることができる。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 意見や主張を述べるために必要となる語彙や表現等を理解している。 社会的な話題について, 意見や主張などを理由や具体例とともに論理の構成や展開を工夫して書いて伝える技能を身に付けている。 	社会的な話題 (グローバル化, AI) について, 読み手の関心をひくことができるように, 意見や主張などを理由や具体例とともに論理の構成や展開を工夫して書いて伝えている。	社会的な話題 (グローバル化, AI) について, 読み手の関心をひくことができるように, 意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して書いて伝えようとしている。

3 提出課題について

(1) 形式

授業で課題を提示。提出日までに書く。

(2) 内容

グローバル化が健康に及ぼす影響について書こう

(3) 準備物

問題と解答用紙, 又は, 提出するためのクラウド上のフォルダ【資料 1】

(4) 方法

- ・同じ科目を担当する教師と課題提出の日付や手順, 採点方法等について共有する。
- ・生徒と課題の内容や解答方法, 提出期限などを確認する。
- ・次の課題を採点の基準と一緒に配布する。

あなたは自分の好きなWebサイトの高校生記者に応募しようとしています。下の指示に従い, 記事を書いて提出してください。

On this website, we are running a series of articles called '*Controversy Today*.' What is occurring in our world today will have an impact on the future of young people. We are looking for high school journalists to contribute to this series. Please write and send us articles to include in our next part of the series, '*Effects of Globalization on Health*.' Please discuss both positive and negative aspects of globalization on health. (Don't forget to provide reasons and details for them). We'd also like you to ask young

readers to give their opinions. Articles are due next Friday. We look forward to receiving your useful and informative articles.

--- Max, the chief editor

<採点>

- ・生徒は提出期限までに記事を提出する。教師は採点の基準に基づき、評価を行う。後日、生徒の書いた良い記事を紹介し、論理の構成や展開、語彙や表現などについてのフィードバックを行う。

(5) 採点の基準

次の採点の基準によって評価する。「思考・判断・表現」については、三つの条件を全て満たしていれば「b」（おおむね満足できる）としている。【資料2】

○「思考・判断・表現」についての三つの条件

条件1：与えられた話題について、良い点、悪い点の両方を述べている。

条件2：条件1の各点について、効果的な理由や適切な具体例を書いている。

条件3：意見を書くように若い読者を誘っている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多様な語彙や表現を使いながら、理解しやすい英文を用いて書いている。	三つの条件を全て満たした上で、意見や考えを詳しく書いて伝えている。	三つの条件を全て満たした上で、意見や考えを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

4 テストまでの指導について

目標設定と共有

- ・単元の目標と評価規準を生徒と共有する。
- ・提出課題の内容と採点の基準を生徒と共有する。

授業での活動（3時間程度の授業を想定）

- ・本事例では、教科書の内容が、世界の発展と人類の幸福に関するものと想定している。授業で扱う話題については【資料3】参照。
- ・モデル英文、その内容の展開のさせ方や有用な表現例等を確認する。
- ・授業で扱う話題（A Iの影響）について資料を活用して自分の考えをまとめる。【資料3】
- ・生徒は自分の意見や考えや情報をペアやグループで共有する。
- ・ブレインストーミング時に書いたアイデアやアウトラインなどを基に、モデル英文や有用な表現例等を参考にして下書きをする。

[指導する表現例]

- 話題に関する良い点や悪い点を書くための表現例

One advantage/disadvantage is... On the other hand, ... In contrast, ...

While..., ... One aspect is... The other aspect is...

- 各点について、説得力のある理由や具体例を書くための表現例

(理由) That is because... In fact, ... One of the reasons is that...

(具体例) For example (instance), ... such as... particularly... including...

The following are the examples of this...

(引用) According to..., ... The survey shows that...

This article reads (says/states/indicates) that...

Mr./Ms. XXXX writes, "..."

- 読者に意見を書くように誘うための表現例

Please... Will you...? How about...? Why don't you...? What do you say to...?

- ・下書きの完成後、モデル英文を読んで、使用されている表現や内容の展開のさせ方などについて確認する。また、自分の原稿と読み比べる。【資料4】
- ・推敲を行う。書いた内容について修正したり、書き間違いなどを訂正したりする。使用するアプリケーション等で綴りや文法の間違い等の指摘があれば、必要に応じて校正するよう指示する。
- ・作品を提出する。【資料2】

指導上の留意点

- ・推敲する際には、内容面や言語面がより充実するよう指導する。
- ・内容面に関し、書籍やインターネットによる情報を活用するなど、情報収集をして参考にすることも考えられる。その際は、著作権を意識させ、出典を明記するなど適切に引用する方法を教え、意図せぬ剽窃等を防ぐよう指導する。
- ・言語面に関しては、中学校を含めそれまでの既習表現を適切に使えるように指導したり、辞書やコーパス等を活用して、より多様な表現ができるように指導したりすることが考えられる。

5 フィードバック

- ・採点後に生徒の作品の表現内容の適切さという内容面や英語使用の適切という言語面の優れている点についてフィードバックを行う。
- ・採点後、多くの生徒に共通する言語面の誤りを含んだ生徒の書いた文章を取り上げ、どう書くと良いかをクラス全体で共有することも考えられる。
- ・自分の文章と、教師が示した文章やオンライン上で得られた文章を比較するなど、自分自身で表現力の豊かな文章にするような機会を与えることも考えられる。
- ・言語面について、全ての間違いを訂正するようなフィードバックではなく、本課題で使用された理由や具体例を書くための表現などに重点を絞ったフィードバックをするなど、指導者の負担にも配慮しながら効率的なフィードバックを行いたい。

【資料 1】 課題配付用紙（オンラインで提出）

あなたは自分の好きな Web サイトの高校生記者に応募しようとしています。指示に従って記事を書き、期限までに abcd@efg-school.ed.jp までメールで提出してください。

On this website, we are running a series of articles called 'Controversy Today.' What is occurring in our world today will have an impact on the future of young people. We are looking for high school journalists to contribute to this series. Please write and send us articles to include in our next part of the series, 'Effects of Globalization on Health.' Please discuss both positive and negative aspects of globalization on health. (Don't forget to provide reasons and details for them). We'd also like you to ask young readers to give their opinions. Articles are due next Friday. We look forward to receiving your useful and informative articles.

--- Max, the chief editor

【チェックしよう】左の列にチェックしてから提出しよう。

	三つの条件を満たしているか確認した。
	書いた後で、綴りや文法のミスがないか、アプリケーションの機能などを使って確認した（やり方は、授業で扱った Web サイトを見たり、友達に聞いたりして確認）。
	引用等は、書籍やインターネット上から引用した部分と自分で書いた部分が区別できるようにして、出典も示した。
	自分のクラスや名前などを書き、誰の作品か分かるようにした。

【評価について】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	多様な語彙や表現を使いながら、理解しやすい英文を用いて書いている。	三つの条件を全て満たした上で、意見や考えを詳しく書いて伝えている。	三つの条件を全て満たした上で、意見や考えを詳しく書いて伝えようとしている。
b	誤りが一部あるが、理解に支障のない程度の英文を用いて書いている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えている。	三つの条件を全て満たして書いて伝えようとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

条件1:与えられた話題について、良い点、悪い点の両方を述べている。

条件2:条件1の各点について、効果的な理由や適切な具体例を書いている。

条件3:意見を書くように若い読者を誘っている。

【資料 2】 生徒の解答例と評価例 ※文法等の誤りを含む

○ 解答例 1

<p>Effects of Globalization on Health</p> <p style="text-align: right;">Nakamura Yui, Jambo High School</p> <p>The world's response to epidemics illustrates both the challenges and the benefits of globalization. Firstly, the negative effects of globalization appear in that new viruses can spread quickly around the world. Actually, the spread of COVID-19 has been considerably faster than the pandemics that happened before. Dr. Kheera once wrote in November issue of this magazine, "Globalization has clearly accelerated the spread of the novel coronavirus."</p> <p>On the other hand, thanks to globalization, we have been able to produce vaccines in record time. Scientists and doctors are able to share ideas and techniques across borders. The flow of money that has contributed to the development of medicines can also be attributed to globalization. It is now easier to raise money for a drug because you know that if you develop it, the whole world will buy it and you will make a huge profit. Globalization has also made it easier to deliver vaccines to many countries. Increased trade has also affected the availability of vaccines in developing countries.</p> <p>Thus, globalization has sped up the spread of epidemics, but it has also sped up the fight against them. It's like the two sides of a coin. The planet is now literally globalized, and we are all affected by it.</p> <p>What do you think about the impact of globalization on our health? We would like to hear opinions on this point of all ages, including young readers.</p>
--

採点の結果：「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「a」と評価した。

○ 解答例 2 (タイトルと生徒の氏名は省略)

<p>What is the effects of globalization on the health of people in the world?</p> <p>Firstly, we can get many information because of globalization. For example, if we search on Internet, we can know other country's how to prevent coronavirus. Some countries are using ICT to see the movement of people in order to control the spread of the disease. People see good points and bad points of other countries' counter measures, and they decide their self-measures. This is a good point of globalization.</p> <p>But in contrast, it also shows the gap between countries. For example, websites such as NHK or WHO shows a big difference of coronavirus vaccination rate in 2022. While the rate is over 80% in many countries, it is 20% or less in some of African countries. Globalization also shows the gap of the world. Your health is decided by your address.</p> <p>Do you think globalization is good for our health? I'm looking for your ideas, especially ideas of young people.</p>

採点の結果：「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「b」と評価した。

○ 解答例 3 (タイトルと生徒の氏名は省略)

<p>Is globalization is good or bad for us? Globalization is good. For example, my neighbor dentist uses American method. They can learn in other countries. My friend want to become dentist too. He watched famous dentist's TV show. The best dentist went to abroad. She was rich because of good income. Dentists can go to anywhere place. The rich is better. So, he will go to abroad. I think so this is a bad thing of globalization.</p>
--

採点の結果：「(5) 採点の基準」に沿って、全ての項目で「c」と評価した。

【資料3】 授業で生徒に配付する資料1

あなたは自分の好きな Web サイトの高校生記者に応募しようとしています。指示に従って記事を書き、期限までに abcd@efg-school.ed.jp までメールで提出してください。

On this website, we are running a series of articles called *'Controversy Today.'* What is occurring in our world today will have an impact on the future of young people. We are looking for high school journalists to contribute to this series. Please write and send us articles to include in our next part of the series, *'Effects of Globalization on Health.'* Please discuss both positive and negative aspects of globalization on health. (Don't forget to provide reasons and details for them). We'd also like you to ask young readers to give their opinions. Articles are due next Friday. We look forward to receiving your useful and informative articles.
 --- Max, the chief editor

○ アイディアをまとめよう。AI の活用は生活などにどのような影響が出るかな？

	Good aspects	Bad aspects
Individual life	・AI will do household chores for us (cleaning robots, etc).	・People will become lazier (We might have health problem!?).
Economy	・	・
Local society	・	・
International society	・	・
Technology	・	・
Other points		

○ それぞれの点について、説得力が増すように引用しよう。次の英文の引用の部分に下線を引こう。引用部分と出典が明確に分かるようにどう書けばいいか確認しよう。

Should we use AI more in our lives? The answer is yes, because AI can improve our lives. A computer scientist, Jerry Kaplan said in voanews.com^{*1}, “we may be able to reduce the amount of carnage on our highways by 80, 90 percent.” So, using AI in our lives isn't such a bad idea.

(*1 <https://www.voanews.com/a/how-safe-artificial-intelligence/2915474.html> (Feb 27, 2022))

○ Please write your first draft, using a PC or a tablet.

【資料4】 授業で生徒に配付する資料2

- Let's read other student's article.



Hi, Max! I'm Yamada Ichiko, class 2-2 in Otsukimi High School. Please read my article. Thank you!

Effects of AI (Artificial Intelligence) on Our Life

Yamada Ichiko, Otsukimi High School

How can AI improve our future? Or will it make it worse?

One of the benefits of AI is to solve the labor shortage in Japan. I believe AI can solve this problem. For example, we have recently heard the news that there is a shortage of bus drivers. In fact, according to the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 97% of bus companies say they are affected by the driver shortage^{*1}. So, the ministry is now working on self-driving buses with AI. In this way, AI can solve the problem of labor shortage.

On the other hand, there is a future disadvantage: AI may take away human jobs. According to the Ministry of Internal Affairs and Communications, AI and machines may replace about half of jobs in Japan in the future^{*2}. As jobs disappear, incomes will fall; AI will develop rapidly and change society, but many people might not keep up with the rapid changes. These are just some of the concerns about AI.

In summary, while AI can solve some of our social problems, it can also be expected to bring about significant changes to our society, even though many people do not want them. How do you think AI will affect our future? Would you like to write about your opinion? We'd love to hear from you.

- 三つの条件が示されているか、確認してみよう。

条件1:与えられた話題について、良い点、悪い点の両方を述べている。

条件2:条件1の各点について、効果的と考える理由や具体例を書いている。

条件3:意見を書くように読者を誘っている。

- データを引用するときには、どのような表現を使っているか、確認しよう。
○ 上の英文を参考にして、主張やそれを支える理由、具体例を示すさまざまな表現を使おう。
○ 最後に advantage と disadvantage をどうまとめているか確認しよう。

*1 国土交通省 (2014)「バスの運転者の確保及び育成に向けた検討会とりまとめ」<https://www.mlit.go.jp/common/001047072.pdf> (Feb 27, 2022 閲覧)

*2 総務省 (2016)「人工知能(AI)の進化が雇用等に与える影響」<https://www.soumu.go.jp/johotsusin/tokei/whitepaper/ja/h28/pdf/n4300000.pdf> (Feb 27, 2022 閲覧)